

2016年度 前期		リフレクションペーパー					
学科名	生物環境化学科 電気通信工学科 建築・デザイン学科 情報学科 経営ビジネス学科						
科目名	日本国憲法						
科目区分	人間形成科目	単位数	2	開講時期	前期		
必修・選択の別	選択						
担当者	柴田滋						
授業の到達目標 (シラバスから)	受講者は、この授業を履修することによって、日本国憲法の性格と三原則について説明し、立憲主義の精神に基づいて論理的に考察し、国家と社会に係る問題に対して憲法判例や憲法学説を検索して客観的に判断することができるようになります。						
日程と内容	4月12日 第1回 憲法の意義 4月19日 第2回 自然法思想と立憲主義 4月23日 第3回 近代憲法から現代憲法へ 4月26日 第4回 日本憲法史と日本国憲法 5月10日 第5回 基本的人権の性格と分類 5月17日 第6回 基本的人権の効力および制約 5月24日 第7回 包括的人権 5月31日 第8回 自由権（Ⅰ）思想、表現の自由 6月7日 第9回 自由権（Ⅱ）信教、学問の自由、経済的自由 6月14日 第10回 社会権（Ⅰ）生存権 6月21日 第11回 社会権（Ⅱ）教育権、労働権 6月28日 第12回 人権を保障する人権—参政権、国務請求権、手続き保障 7月5日 第13回 統治機構—象徴天皇、国会、内閣、裁判所、地方自治 7月12日 第14回 平和主義（Ⅰ）国際平和主義の歴史 7月19日 第15回 平和主義（Ⅱ）戦争の放棄 7月26日 定期試験						
成績評価基準	定期試験	100%	実技				
	臨時試験		部外評価				
	報告書・レポート		プレゼンテーション				
	課題		計	100%			
	演習						
授業到達目標の達成度	パワーポイント資料や判例を活用して計画通り講義を進めた。学習目標は到達できたといってよいと思う。						
反省点	受講生が多いこともあって、受講生の積極的な授業参加が不十分であったと思われる。この点についてさらに工夫したい。						
来年度の計画	日本国憲法については、政府解釈の変更や憲法改正の動向があるなど、国民各自の憲法に対する関心が高まっている。立憲主義や日本国憲法について客観的な観点から理解することに特に留意して講義を編成したい。						
授業評価アンケートに対するコメント	評価理由の記述欄に、例年に比べてずっと多く、「わかりやすかった」「資料が役に立った」「興味が深まった」など、積極的な意見が多かったのは、喜ばしいことであった。						
履修登録者数	184名	定期試験 受験者数	174名	合格者数	171名	合格率	98%